

## 平成28年度 建設常任委員会第2回管内視察の概要

■視察日 平成28年8月19日（金）

■視察者 建設常任委員（7名）  
山口 裕（委員長）、田代国広（副委員長）、坂田孝志、西山宗孝  
松村秀逸、山本伸裕、中村亮彦

■視察先 ①国道218号（下益城郡美里町）  
②県道囲砥用線・筒川（下益城郡美里町）  
③県道横野矢部線（上益城郡山都町）  
④国道445号（上益城郡御船町）  
⑤県道三本松甲佐線（上益城郡甲佐町）

■視察趣旨 平成28年4月14日・16日に発生した「平成28年熊本地震」に加えて、6月の記録的豪雨により被害が拡大した地域の被災状況を確認するとともに、今後の委員会審議の参考とするため、視察を実施しました。

### ■視察の概要

#### ①国道218号

美里町今地区における斜面崩落は、時間雨量98mmを記録した6月21日の午前1時頃発生し、25日にも上部の岩石が崩落したとのことでした。

現在、斜面の上部には傾斜計が設置され、斜面に変状等が生じた場合には、サイレンで直ちに交通誘導員へ周知し、通行止めにするとのことでした。

今後の安全対策として、熊本県県央広域本部宇城地域振興局土木部から、勾配を緩くして、斜面を削る工法で設計を進めているとの説明がありました。



#### ②県道囲砥用線・筒川

県道囲砥用線では、延長510mの区間で被災しており、熊本県県央広域本部宇城地域振興局土木部によると、当該箇所だけで約3億5千万円の被害額が見込まれているとのことでした。

一方、筒川では、6月20日の豪雨により、緑川合流点から浜之瀬橋までの約4km区間で背後地の流出や護岸転倒などの被害が発生したほか、土砂が異常に堆積している状況でした。



### ③ 県道横野矢部線

被災現場は、6月の豪雨に伴う大規模な斜面崩落により、道路部分が決壊し、川からかなり高低差があるため、仮復旧は非常に困難と思われる状況でした。

熊本県県央広域本部上益城地域振興局土木部の説明では、現在、災害査定に向けて調査・設計を進めており、豪雨災害については、12月までを目標に査定を完了したいとのことでした。



### ④ 国道445号

熊本地震により被災した当該箇所は、急崖部の地形となっており、上部の岩石崩落により、道路が埋塞していました。

現場では、「ロッククライミング工法」という遠隔操作により、無人重機が斜面に残る不安定な岩石の除去作業を行っていました。

熊本県県央広域本部上益城地域振興局土木部によると、今秋頃までを目標に、まずは片側交互通行を確保し、その後、本工事に着手予定とのことでした。



### ⑤ 県道三本松甲佐線

熊本地震により被災した当該箇所では、斜面上の不安定な岩塊等の除去作業を施工中でした。

熊本県県央広域本部上益城地域振興局土木部としては、まずは、今秋頃までに片側交互通行ができるよう鋭意取り組んでいるとのことでした。

また、12月までを目標に災害査定を完了したい考えであり、用地買収が不要な箇所については、災害査定と平行して本復旧を進めていくとの説明がありました。

